



子どもたちを犯罪から 守りましょう！

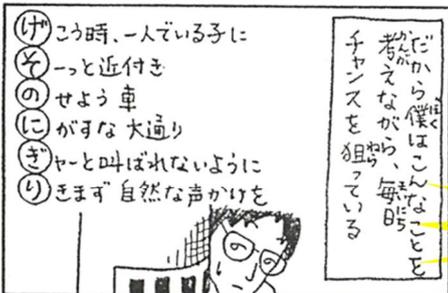


安心の街
子ども
110番
の家
けいさつ

のとけいさつ

ほ〜す君

げそのにぎりの巻の



※ほ〜す君：能登警察署の広報キャラクター

なつやすみ こども防犯教室開催!!

8月25日白山市松任児童館において、警察官と大学生ボランティア、お笑い芸人「ぶんぶんボウル」（白山市出身）による、『なつやすみ こども防犯教室』を開催しました。



【こども防犯教室で指導している、被害に遭わないためのキーワード】



●しらない人についていかない！

知らない所に連れて行かれ、家に帰れなくなる可能性があります

●しらない人の車にのらない！

車に乗ってしまうと、車外に逃げ出すことが困難になります

●おおごえを出す！

周りの人に気づいてもらえるように、大きな声で助けを求めます

●すぐにげる！

怖い思いをしたり、何か変だなと思ったら、すぐにその場から逃げます

●おとなにしらせる！

怖い思いをしたら、必ずおうちの人や学校の先生、児童館の先生など周りの大人の人に知らせます

※万一の時、落ち着いて行動がとれるように、子供たちにわかりやすい言葉で繰り返し教えることが大切です！

《要注意！こんな声掛け例》

・お菓子やゲームなどを買ってあげる、またはゲームなどを一緒にしようと誘って連れ去ろうとする

(例)「お菓子をあげるから一緒に来ない？」

(例)「おもしろいゲームがあるから、一緒に来てゲームしない？」

・道案内を頼み、車に乗せて連れ去ろうとする

(例)「△△まで行きたいんだけど、一緒に車に乗って案内してくれない？」

・困っている人を、または自分が困っているので、手助けしてほしいと頼み連れ去ろうとする

(例)「向こうにケガをして歩けなくなっている人がいるから、ちょっと一緒に来て。」

(例)「車の中に物を落としてよく見えない。車に乗って一緒に探してくれない？」

・家族が交通事故やケガをしたので、病院や現場まで連れて行ってあげると言って、車に乗るようせかして連れ去ろうとする

(例)「君のお父さんが交通事故に遭った。病院へ連れて行ってあげるから、すぐ車に乗って。」

・モデルなどをやらないかと誘って連れ去ろうとする

(例)「モデルやらないか？写真撮らせて。」